

平成28年度

丹沢大山ボランティアネットワーク
活動報告書

目 次

丹沢大山ボランティアネットワーク事業報告

- 1 水質調査
- 2 講演会

会員団体活動掲示板

神奈川県勤労者山岳連盟
横浜わらび山の会
神奈川県山岳連盟
NPO法人神奈川県自然保護協会
神ノ川ヒュッテ管理委員会
NPO法人北丹沢山岳センター
山綾会
NPO法人四十八瀬川自然村
NPO法人自然塾丹沢ドン会
NPO法人丹沢森の仲間たち
丹沢けものみちネットワーク
NPO法人丹沢自然保護協会
丹沢ブナ党
西丹沢の自然にふれあう会
蛭ヶ岳山荘委員会
NPO法人みろく山の会
NPO法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部
かながわ野生動物サポートネットワーク
町田グlaus山の会
NPO法人伊勢原森林里山研究会
NPO法人神奈川ウォーター・ネットワーク
NPO法人丹沢自然学校
NPO法人野生動物救護の会
NPO法人足柄丹沢の郷ネットワーク
湘南自然観察クラブ
伊勢原の自然と環境を守る会
丹沢山小屋組合

世話人会の活動報告

事業報告

平成28年度水質調査結果一覧 <上段:検査項目 中段:単位 下段:水質基準(参考)>

調査地点	採水日	一般細菌		大腸菌		亜硝酸態窒素		硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素		塩化物イオン mg/l	有機物 mg/l	pH値	味	臭気	色度 度	濁度 度	水場周辺の状況			気象の状況			
		CFU/ml	-	-	-	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l								以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下
1 半原越付近	5月6日	0	不検出	0.004未満	0.4	1.3	0.3未満	7.9	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	曇り	16	13
2 日向林道起点水場	5月16日	3	不検出	0.004未満	0.6	1.2	0.3未満	7.4	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	晴れ	15	13
3 護摩屋敷跡	5月13日	0	不検出	0.004未満	0.6	0.9	0.3未満	7.9	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	20	11
4 堂平沢	5月13日	5.0 × 10 ¹	検出	0.004未満	0.1未満	0.6	0.3	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	20	12
5 原小屋平水場	5月16日	2	検出	0.004未満	0.2	0.4	0.3未満	7.6	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	曇り	15	9
6 黍穀山遊離小屋	5月7日	0	不検出	0.007	0.4	0.7	0.3未満	7.6	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	曇り	20	11
7 大山 弘法の水場	5月6日	0	不検出	0.006	0.4	1.4	0.3未満	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	曇り	15	12
8 春越湧水	5月13日	1	不検出	0.004未満	0.5	1.2	0.3未満	7.8	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	20	11
9 葛葉の泉	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.5	1.3	0.3未満	7.6	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	雨	23	14.5
10 竜神の泉	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.4	1.4	0.3未満	8.0	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	雨	13	15
11 後沢乗越水場	5月28日	1.0 × 10 ¹	検出	0.004未満	0.2	1.0	0.3未満	8.0	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	雨時々曇	16	13
12 二保の水場	5月28日	4	検出	0.004未満	0.3	0.9	0.3未満	7.9	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	雨時々曇	17	14
13 大倉高原山の冢水場	5月28日	7	不検出	0.004未満	0.3	1.2	0.7	7.8	正常	3	0.5未満	なし	なし	なし	あり	取水口	なし	なし	なし	曇り	雨時々曇	24	17
14 塔ノ岳水場	5月28日	0	不検出	0.004未満	0.1未満	0.7	0.3未満	7.5	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	雨時々曇	19	12
15 皆瀬川入瀬	4月21日	2.9 × 10 ¹	検出	0.004未満	0.5	2.0	0.3	8.0	正常	1	0.5未満	少々あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	晴れ	19	15
16 西丹沢栗民の森	5月16日	6	不検出	0.004未満	0.4	0.7	0.3未満	7.4	正常	2	1	なし	なし	なし	あり	取水口	なし	なし	なし	曇り	晴れ	18	13.5
17 仲ノ沢法面湧水	5月16日	0	不検出	0.004未満	0.4	0.8	0.3未満	8.2	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	晴れ	18	13.5
18 用木沢合	5月16日	2.0 × 10 ¹	検出	0.004未満	0.3	0.7	0.4	7.6	正常	1	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	晴れ	14	13
19 一軒屋遊離小屋前水場	5月16日	6	検出	0.004未満	0.2	0.6	0.4	7.6	正常	2	0.5未満	少々あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	晴れ	13	12
20 犬越路ずい道水場	5月1日	0	不検出	0.004未満	0.1未満	0.7	0.3未満	7.7	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	20	1.1
21 犬越路 日陰沢	5月1日	5.2 × 10 ¹	検出	0.004未満	0.3	0.7	0.3未満	7.7	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	あり	取水口	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	20	0.9
22 エビラ沢合	5月1日	5	検出	0.004未満	0.2	0.7	0.3未満	7.9	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	19	1

大腸菌が検出されたため、味の検査は不可

平成28年度丹沢大山ボランティアネットワーク講演会報告

報告者世話人会副代表 小林 昭五



丹沢講演会 昨年以上(44名)に多くの人が集まり盛大に開催された

場 所 神奈川県自然環境保全センターレクチャールーム

演 題 「丹沢の植物」

日 時 6月18日(土) 13時～15時

講師紹介

山口 喜盛氏

丹沢野生生物研究会

元丹沢湖ビジターセンター所長

秦野市出身で学生の頃から野生動物の研究をされていました。

著書 丹沢の自然図鑑 (メイツ出版)他多数有ります。

現在は神奈川県生命の星地球博物館の外来研究員

日本の野生生物を紹介(特に丹沢)するワイルドライフミュージアムを主催されている。



講師 山口氏の講演の様子



講師紹介 酒井世話人

内 容

丹沢の植物について、今までに撮りためておいた植物写真を見ながら説明をされました。植物の生育している環境を分類して、約 300 種の植物について解りやすい解説をして頂きました。

最初は標高 800m 以上のブナ ミズナラ帯のブナから入りました。堂平や天王寺尾根 ユーシンロッジ以上の高度のブナ林について話されました。



神々しいブナ林口

ブナ林の林床に生えるバイケイソウ、マイズルソウなどの話をされました。

スズムシソウ、シロバナエンレイソウ、マルバダケブキ、ミツバツツジ等説明されました。ツルアジサイとイワカラミの区別も学びました。あまり多くの植物を解説して頂いたので、これだけの資料を集めたことに感心しました。

ヒレンジャクとヤドリギの話も楽しかったです。秋になると黄色の実をつけ、ヒレンジャクが食べ、消化されない種子は糸のように垂らし排出され宿主の木にくっきます。

サガミジョロウホトトギス 右写真

「丹沢の貴婦人」と呼ばれている花です。ひっそりと咲いていて、見つかりにくいですが意外と登山道近くで咲いています。

あまり見つけやすいと、反対に盗掘で絶滅が心配です。ユリの仲間ですが丹沢の固有種で貴重な植物です。



ブナの大木の紅葉



上写真 ヒレンジャクが 種子を含む粘液を出している



最後に多くの人の質問にも、丁寧に答えられていました。

山口喜盛先生 有り難うございました。



私たち丹沢大山ボランティアネットワーク会員は、この講演会を栄養剤として丹沢、大山の環境保護などに邁進したいです。

ボラネット世話人会副代表の小林昭五が報告書を書かせて頂きました。

皆様方の協力有り難うございました。

上写真 司会 お礼の挨拶の様子

平成 28 年度丹沢大山ボランティアネットワーク講演会アンケート集計結果

この講演会のテーマはいかがでしたか？

非常に良かった	7
良かった	23
普通	8
悪かった	0
非常に悪かった	0

講演会の内容についてはいかがでしたか？

よく理解できた	10
理解できた	19
普通	8
あまり理解できなかった	1
全く理解できなかった	0

今後、講演会で取り上げてほしいテーマがありましたら、ご記入ください。

- ・植物の保全の大切さ
- ・シカ、イノシシの食害について
- ・子供相手のプログラム紹介または結果報告、事例紹介
- ・丹沢の動物、生きもの
- ・丹沢の微生物等、他では聴けないテーマがよい。
- ・山口先生の専門のコウモリの話。水産関係の方に丹沢周辺の魚の話。地質学の話。
- ・丹沢の山々の成り立ちと植生の分類等(山全体の話)が聞きたい。
- ・丹沢の動物とその被害状況、対策について。丹沢の昆虫類。
- ・丹沢のチョウ類について
- ・時事的な自然状態を取り入れた内容をお願いしたい。
- ・神奈川の大地、自然が育む植物、生物群

- ・シカの生態とシカ肉を使った料理など取り上げてほしい。
- ・地質学的丹沢の歴史もやってほしい。
- ・以前「ヤマヒル」について参加しましたが、その後の分布等変化があれば
- ・野生動物、特に鳥類

お忙しい中、「丹沢講演会」へおいで頂きまして、そしてアンケートへの記入への協力有り難うございました。

上記のアンケート結果を検討して、次年度の「丹沢講演会」の内容を決めていきます。

會員団体活動揭示板

団体名称	神奈川県勤労者山岳連盟
	<p>国民の登山要求の高まりの中で、激増する遭難の一扫という方針を掲げて、1968年に結成。登山が自然をフィールドとするスポーツである以上、常に自然との共存共生や遭難事故防止の課題を伴っている。私たちは自らの登山技術や知識を高め、仲間を迎え入れ、登山活動の一層の充実と発展を図る。また、自然保護委員会を設立し、丹沢をはじめとする自然保護活動にも力を尽くしてきている。</p> <p>【設立年月日】1968年</p>
団体情報	<p>【代表者】渡辺 三男 【会員数】640名 【ホームページ】http://www.k-rouzan.net/</p>
活動内 (容	<p>1. <u>第39回「2016年 丹沢クリーンハイク」の実施</u></p> <p>実施日 2016年5月29日(日) 表丹沢、西丹沢</p> <p>参加者288名(会員260名、一般28名、大学WVからの参加もあり)で、ゴミ91.57kg回収。最近では登山道のゴミは少なくなっているが、登山者が増えている現状を考えるならば、クリーンハイクの活動は大切と考えている。また、20年以上継続している丹沢の沢と水場、名水などの「水質調査」、登山道補修などの活動も併せて継続実施している。</p> <p><u>東丹沢、沢・水場の「水質調査」実施</u></p> <p>実施日 2016年5月28日(土) 水無川本谷、塔ノ岳水場等17か所</p> <p>参加者22名で。水無本谷出合、勘七の沢出合、後沢乗越、二俣等で大腸菌が検出された。引き続き調査と注意喚起を呼びかけていく。</p> <p>登山道整備補修は表尾根の二ノ塔、三ノ塔で、丹沢パークレンジャーの指導のもと実施。29名参加。登山者サイドからも意義のある活動であると考えており、以降も実施していく。</p> <p>2. <u>東日本大震災復興支援活動</u></p> <p>2011年3月の大震災以降、2011年よりボランティア活動を継続している。</p> <p><u>福島の子どものための保養プログラムを実施</u></p> <p>神奈川県連盟で、2015年7月30日～8月1日、YMCA三浦ふれあいの村で福島県南相馬市の小学生21名で実施して以降も、他勤労者山岳連盟の企画が継続されており、2016年は静岡で、2017年は東京で実施予定。これからも、福島の子どものための保養プログラムに参加し、震災以降海の自然から遠ざかっていた子供たちの要求を実現していく。</p> <p><u>第6回東日本震災ボランティアの実施</u></p> <p>2016年11月12日～13日 宮城県石巻で実施。</p> <p>変貌する被災地の視察を行い、嵩上げ工事や道路工事などの復興事業は進んでいたが、人々の暮らしに寄り添った復興だろうかと思われ、被災地の傷の深を感じてきた。これからも被災地訪問は続けようと考えている。具体的な活</p>

	動内容は石巻の山岳会や市民とともに、里山、上品山から水沼山のハイキングロードのツツジなどの植栽、撫育作業に汗を流した。
連絡先	【担当者】
	【住所】〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川 1-18-2 永田ビル 3階
	【電話】045-434-2726
	【FAX】同上
	【メール】 http://www.k-rouzan.net/

団体名称	横浜わらび山の会
設立目的	<p>自然を通じて会員相互の親睦をはかり、「生涯登山」を合言葉に楽しい山歩きやハイキングを目的としています。日帰り山行は元より、夏の山行、街中ハイキングから神社、仏閣巡り、温泉、花巡り、また清掃登山や障害者登山への積極的参加などを通して、自然を愛し、自然保護に力を入れ、自然と親しみながら、「和やかに」「楽しく」「美しく」、いつまでも元気でいられるよう行動しています。会名「わらび」は、理念のなかの「和やかに」「楽しく」「美しく」の和・楽・美を合わせて「わらび」と命名しました。</p> <p>【設立年月日】1990年3月</p>
団体情報	<p>【代表者】田内道子</p> <p>【会員数】36名(2016年6月4日現在)</p> <p>【ホームページ】http://warabi.la.coocan.jp/</p>
	<p>6月4日：表尾根よもぎ平植樹モニタリング 5名参加</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>この日の作業目的は植樹した樹木の生育状況の調査。 右手が調査場所。作業内容は植樹時に番号をふったタグを付けた木の生育状況を調べる事。調べ終わったタグを針金ごと外す事。調査完了の印に自然に戻る紙テープを付ける事。タグ無しでも50センチ以上の樹木は調査対象。</p> </div> </div> <p>9月10日：三ノ塔東斜面植樹モニタリング 5名参加</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
連絡先	<p>【担当者】長谷川 隆</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】</p>

団体名称	神奈川県山岳連盟
設立目的	<p>神奈川県山岳連盟は、登山を指導普及し、その健全な発展を図り、あわせて会員の親睦・交流と、自然愛護の精神を高揚することを目的としている。</p> <p>【設立年月日】昭和 29 年 4 月 4 日</p>
団体情報	<p>【代表者】岡本 安夫</p> <p>【会員数】 17 協会、80 団体、2200 名</p> <p>【ホームページ】http://www.kanagawa-gakuren.gr.jp/</p>
活動内容	<p>神奈川県山岳連盟は、県下各地の市町村の山岳協会や大学山岳連盟・高等学校体育連盟登山専門部からなる 17 の団体を統括している。そして、競技登山（スポーツクライミングなど）、卓越登山（エキスペディション）から健康登山（ハイキング、トレッキング）と幅広い登山ジャンルのなか、安全普及（指導者養成・ジュニア養成）、遭難対策（セルフレスキュー、グループレスキュー）、環境保全（山岳自然保護）などの活動を行っている。</p> <p>指導者養成では、公益財団法人日本体育協会の認定するスポーツ指導者の専門教育（山岳部門）を担っているとともに、環境省自然公園指導員や公益社団法人日本山岳協会公認の自然保護指導員の養成（山の自然セミナーなど）を行っており、丹沢山塊を始め国内山岳における指導や普及・啓もう活動にあたっている。</p> <p>主な環境保全活動としては、丹沢大山クリピア 2 1 への参加のほか、ニノ塔での丹沢野緑を育む実行委員会ボランティア活動、宮ヶ瀬湖畔煤ヶ谷水源林での県民協働での森林づくり活動実行委員会の定着型ボランティア活動に参加し、自然再生に向けた植樹や山林整備を行っている。</p> <p>詳細は添付資料をご覧ください。</p>
連絡先	<p>【担当者】松隈 豊</p> <p>【住 所】</p> <p>【電 話】</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】matsumobi@nifty.com</p>

平成 28 年度 神奈川県山岳連盟 自然保護活動報告

神奈川県山岳連盟

1. 活動概要

1) クリーン活動

丹沢大山クリンピア 21 活動（各山岳協会・自然保護指導員・自然公園指導員が連携 通年）
 ゴミ持ち帰り運動に参加。神奈川県山岳連盟の活動実績は次表の通り。

活動	実施回数	参加者数（名）		回収ゴミ	
		男	女	可燃	不燃
H28 年度（H28/3/1～H28/12/31）	72	466	436	168	147



広沢寺岩場清掃集会（広沢寺の岩場を守る会）への参加協力も行っている。

2) 自然再生活動

環境登山（H28/5/17、H28/9/25）

山岳地（丹沢山塊）の崩落跡の裸地の植生回復を目指した植栽を行っている。年 2 回の集合活動を実施し、春には植栽、秋には苗木の点検保守を実施した。平成 28 年春で合計 600 本を植栽達成。



森林づくりボランティア活動（通年）

清川村の県有水源林の約 8 ヘクタールを使い、県助成金をバックに森林づくりボランティア活動を実施している。放置され荒れた旧里山の林地を健全な森林に回復活動を実践した。第 59～65 回済。



荒廃農地整備活動（H28/7/10～10/30）

チェーンソー技術研修を兼ねて荒廃農地の整備ボランティア を実施した。4 回実施。



3) 教育・研鑽活動

山の自然セミナー（H28/3/2～3/3）

第五回山の自然セミナーを県立山岳スポーツセンター及び丹沢ニノ塔にて1泊2日で開催。第一日目は県職を講師に丹沢のシカ問題を聴講。第二日目森林再生をテーマに丹沢ニノ塔で植栽苗の観察及び保育作業を実習した。第六回を来春に計画中。



4) 調査活動

登山者数カウンター調査（通年）

神奈川県の委託事業として丹沢・表尾根公園歩道2カ所の登山者数カウンター調査を毎月1回行った。この事業は平成26年から継続して実施。



水環境調査（H28/6/5）

世界環境デー（6月第一日曜）の前後に全国的に行われる身近な水環境全一斉調査に参加。連盟では2012年から地域の山岳会が行っていたもの拡大継承し、神奈川県西部地区20地点の河川にて調査を行ってきた。



5) 対外協力・啓発活動

丹沢大山自然環境再生委員会（展示会等での県民PR活動 H28/5/28～29、H28/10/8～9）



6) 日山協活動への参加

1) 自然保護常任委員の推薦派遣3名（紅葉淳一、湯浅達男、松隈豊）

2) 開催事業への参加

自然保護常任委員研修会（三つ峠）

自然常任委員総会 山岳自然保護の集い（東京・代々木）

関東地区山岳連盟自然保護交流会（南房総市）

自然指導員研修会（オリンピック記念青少年総合センター）

平成 28 年度 年間行事（実績）

実施日	行事内容
4月3日	第56回森林づくりボランティア活動
4月10日	丹沢ボランティアネットワーク総会
5月8日	第57回森林づくりボランティア活動 山神祭り
5月15日	第7回環境登山（パート ）
5月28日、29日	地球環境イベントアジェンダの日 2016
5月22日	第58回森林づくりボランティア活動
6月5日	身近な水環境全国一斉調査 県西地区 20 ポイント
6月18日～19日	日山協 自然保護常任委員研修会（三つ峠）
8月3日	第59回森林づくりボランティア活動
8月11日	全国山の日 かながわ山の日 in 陣馬山 2016
9月3日～4日	日山協 自然常任委員総会（山岳自然保護の集い） （オリンピック記念青少年総合センター）
9月11日	第60回森林づくりボランティア活動 山神祭
9月25日	第7回環境登山（パート ）
10月1日～2日	日山協関東地区山岳連盟自然保護交流会（南房総）
10月8日～9日	横浜ワールドフェスタ（山下公園） 丹沢大山自然再生委員会活動に協力
11月5日	日山協 自然指導員研修会（オリンピック記念青少年総合センター）
11月13日	第61回森林づくりボランティア活動
12月23日	第62回森林づくりボランティア活動
1月8日	第63回森林づくりボランティア活動 山神祭
1月22日	第64回森林づくりボランティア活動除伐蔓切り・地表整備
2月5日	第65回森林づくりボランティア活動
2月25日～26日	第6回山の自然セミナー
3月5日	広沢寺岩場清掃集会（予定）
3月12日	第66回森林づくりボランティア活動（予定）

団体名称	NPO 法人神奈川県自然保護協会
設立目的	神奈川県の自然の保護及び神奈川県民の自然保護意識の向上に寄与すること 【設立年月日】1965年10月1日、2004年6月1日(NPO法人格取得)
団体情報	【代表者】藤崎英輔 【会員数】170(個人・団体) 【ホームページ】 http://www.eco-kana.org
活動内容	(1) 自然保護に関する普及啓発事業 ア シンポジウム・講演会開催事業 講演会(6/18) かながわ生物多様性計画について 会場 Lプラザ イ 自然観察会 どう護るか、生物多様性ホットスポット 茅ヶ崎里山公園 (9/4) 地形・地質見学会(2017.3月) 変動する大磯丘陵 ウ 厚木市生物多様性地域戦略事業協働 自然のめぐみに触れるエコツアー 里のめぐみ(4/29) 自然のめぐみを感じるツアー(11/4) エ 学校の行く環境教育支援 厚木市立愛甲小学校ほか (2) 広報・刊行事業 ア 情報紙発行事業 情報紙「ニュースレター」発行 年5回 ウ ホームページの運営 エ 啓発ブース出展 横浜象の鼻パーク(5/28,29) かながわエコ10フェスタ 藤沢市 藤沢自然と親しむ会イベント 辻堂テラスモール(10/16) 藤沢市 藤沢自然と親しむ会 引地川親水公園(10/30) (3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動 ア さがみ自然フォーラム開催(2/9-13) 会場 アミューあつぎ アートギャラリー他 厚木市共催 企画展「里山の成り立ちと文化を考える」 自然保護団体ポスター展示 ポスターセッションによる交流 25団体参加 講演会 里山を生かした公園づくり(明治大学教授 倉本宣氏) 学校環境活動発表 (ポスター及びステージ) 大学・高校生の研究発表 (ポスター及びステージ) スライド上映 市民が撮った自然の営み イ 他団体等行事の後援 自然塾丹沢ドン会 川名自然フォーラム 藤沢自然に親しむ会 (4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究 ・神奈川県内自然ホットスポットプロジェクト (5) 行政への働きかけ・協働 神奈川県環境審議会委員派遣 水環境保全再生県民会議委員 丹沢大山保全再生委員会委員他
連絡先	【担当者】青砥航次 【住所】厚木市林 5 - 15 - 10 【電話】 【FAX】 【メール】 nacs-kana-office01@eco-kana.org

行事のようす



象の鼻パーク 外来種ブース出展 ゼリガニが人気



里のめぐみ ほりたてのタケノコ賞味



茅ヶ崎里山公園に学ぶ



茅ヶ崎里山公園に学ぶ(室内)



自然のめぐみを感じるツアー



第16回 さがみ自然フォーラム



さがみ自然フォーラム
 左 ポスターセッション
 右 展示風景

団体名称	神ノ川ヒュッテ管理委員会
設立目的	<p>山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>自然保護活動（広河原植林事業、東海自然歩道監視、整備等）の基地及び山岳スポーツ（トレイルレース）の基地として活動している。</p> <p>【設立年月日】 1993年 4月 1日</p>
団体情報	<p>【代表者】杉本 憲昭</p> <p>【会員数】80名</p> <p>【ホームページ】http://kitatan.com/kantop</p>
活動内容	<p>4月17日 丹沢神の川流域山開き折花姫神社・本祭行事 東海自然歩道・日陰沢新道のゴミの収集活動</p> <p>6月 5日 国道20号線クリーン活動</p> <p>7月 3日 北丹沢12H山岳耐久レースの協力・第一関門及び第二関門 日陰沢新道の整備活動</p> <p>8月 1日 神の川周辺登山道清掃及び点検活動 ～ 31日 広河原での植林活動</p> <p>11月23日 広河原での植林活動（主に下草刈り） 植林地での鹿柵補修活動</p> <p>活動場所 北丹沢山域（特に神の川、広河原、鐘撞山を中心とした地域）</p> <p>神の川ヒュッテ友の会会長 加藤 博恵</p>
連絡先	<p>【担当者】杉本 憲昭</p> <p>【住所】相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】042-687-4011</p> <p>【FAX】042-687-3980</p> <p>【メール】kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

28年度北丹沢神の川流域の山開きが開催されました

恒例の北丹沢神の川流域山開きは、4月16日(土)～17日(日)に折花神社に於いて開催されました。前日から当日午前中にかけて強風に見舞われましたが、山開きは予定通り行われました。山開き終了後は神の川林道を歩いてゴミ拾いを実施しました。参加者には北丹沢山岳センターよりささやかな記念品と手袋・ゴミ袋が手渡されました。長年協力を戴いている神の川ヒュッテ友の会の加藤博恵会長からのごあいさつや、藤野山岳会の前会長・遠藤勝巳さんからお話をいただきました。一方、蛭ヶ岳山荘でも当日の20名以上の宿泊者の方々に、山開きとゴミ拾いをお願いしました。



団体名称	N P O 法人北丹沢山岳センター
設立目的	<p>藤野町牧野財産管理会の委託を受け、健全なヒュッテの経営を行う。 山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 2003年4月11日</p>
団体情報	<p>【代表者】杉本 憲昭</p> <p>【会員数】運営委員会30名 10団体 400名</p> <p>【ホームページ】http://kitatan.com/</p>
活動内容	<p>4月 3日 国道20号線クリーン活動 4月17日 北丹沢神の川流域山開き・折花姫神社での本祭行事 6月 5日 国道20号線クリーン活動 7月 3日 北丹沢12h山岳耐久レースへの協力 8月15日 神の川周辺登山道の清掃・点検活動 11月 6日 陣馬山トレイルレースへの協力・陣馬山清掃活動 11月23日 広河原での植林活動・シカ柵補修 11月27日 東丹沢早戸川水源の森清掃</p> <p>活動場所 北丹沢山域（特に神の川、広河原、蛭ヶ岳、姫次を中心とした地域）</p>
連絡先	<p>【担当者】杉本 憲昭</p> <p>【住所】相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】042-687-4011</p> <p>【FAX】042-687-3980</p> <p>【メール】kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

国道20号線吉野花だまりクリーン活動報告

6月5日(日)午前9:30より会員8名で実施

花だまり側10袋200キロ・レストランてんすい側産廃物3トン

朝のうちは雨模様にて国道20号線のクリーンキャンペーンの作業がAM9:30より開始された。花だまりの駐車場は利用者のマナーが相変わらず悪く、缶・瓶・コンビニなどの食材容器の投棄物で汚され、花壇は雑草で覆われていた。レストランてんすいの駐車場等は産業廃棄物の布団・マットレス・洗濯機・衣類をはじめ家庭の粗大ゴミが多く捨てられ、総量は4トン車1台以上(3トン)にもなり、ここはゴミ投棄常習者達の捨場になっている。ぜひ広場には金網の柵を設置し監視カメラを導入してほしい。



団体名称	山綾会
設立目的	「生涯登山」を合言葉に、中高年の健全な登山、ハイキングを行うことにより、会員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的としています。 【設立年月日】平成4年10月1日
団体情報	【代表者】彦坂 弘明 【会員数】81名（平成29年1月22日現在） 男性25名、女子56名 【ホームページ】 http://sanryokai1992.wed.fc2.com
活動内容	平成28年度活動は計画にたいして、実施が天候不良その他自然災害など多くの要因で、中止がありましたが、59回の計画に対して48回の実施ができました。 その中で、例年実施のクリーンピヤー活動を11月3日大山清掃又綾瀬市市民の方に安全登山講習と美化運動の啓発を実施いたしました。 例年の市文化展に写真部門で参加と今年も多くの会員の参加をいただき実施できました。 最近の中高年が登山での事故報道をうけて、会では一層の安全登山を目指すべき、啓発を実施いたしました。 本年度は山綾会発足25周年にあたり、記念バッチ配布又25周年の足跡をたどる写真展を6月に綾瀬市市役所7階ホールにて、実施予定。 昨今会員の高齢かに伴い会員数現象がありますが、会員の募集を呼びかけて、今後も会、発展と生涯登山をめざします。
連絡先	【担当者】村上 紀央 【住所】 【電話】 【FAX】 【メール】

団体名称	NPO 法人四十八瀬川自然村
設立目的	四十八瀬川流域の原風景と、ホタルの棲める環境をまもる。 【設立年月日】2001年9月 秦野市民15名で「四十八瀬川自然村」を設立。 2007年5月 NPO 法人認可、登録
団体情報	【代表者】 【会員数】村民75名(男性59名・女性16名)・高齢者多数 【ホームページ】48se-mura.com
活動内容	豊かな里山の自然環境を後世に引き継ぐため、荒廃化した水田・農地・里山の整備にと活動を続ける。又河川活動では県の絶滅危惧種の「カジカ」の定点調査やホタル生息地の整備等に取り組んでいる。ホタル鑑賞会や、各イベントに参加普及啓発に努めている。ほか酒米の栽培から振舞い酒を行う(秦野どぶろく祭り)を毎年行っている。
連絡先	【担当者】小野 均
	【住 所】
	【電 話】
	【F A X】
	【メール】 hi_ono@hotmail.co.jp

団体名称	NPO法人自然塾丹沢ドン会
設立目的	<p>丹沢及び山麓の豊かな自然、風土、文化の変容に対して、「登山道等の補修」「伝統風景の保全」「風土が育んだ文化、伝統、芸術の保全」等の事業を、山麓に暮らす人たちとともにに行い、もって健全な社会資産の形成、公益の増進に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】1992年3月(NPO法人認証 2001年9月11日)</p>
団体情報	<p>【代表者】片桐 務</p> <p>【会員数】120家族</p> <p>【ホームページ】http://www.donkai.com/</p>
活動内容	<p>里地・里山は、かつて人の手が入り、活用・管理されて風景を保ち、生物の多様性も維持できていました。しかし、エネルギー革命・高度成長・人びとのライフスタイルの変化とともに、価値の減少した里地・里山では、農家の足音が聞こえなくなり、自然の循環が途絶えました。</p> <p>丹沢ドン会では、毎年参加者を募集している「丹沢自然塾」の開催により、農家に代わって丹沢の麓と都市を結び、人海戦術で棚田の復元活動に取り組んでいます。自然に癒され、仲間づくりをする参加者は、丹沢ドン会のフィールドである秦野市名古屋の棚田や羽根の里山で、それぞれの居場所を見出し、安全・安心な食べものづくりを通して生きる源である「食」を考え、小さな地域経済を起し、人間の都合を少し控えた活動を継続しながら、生物の多様性の実現を図っています。それらの活動の結果として、身近な自然である里地・里山を復元・保全して伝統的な農村風景を再生し、次の世代へ伝えることを目的としています。</p> <p>2016年度の「丹沢自然塾」は、4月の開講オリエンテーション・棚田の種まき教室に始まり、田植え・稲刈りなどの米づくり、そばの種まきから始める新そば手打ち体験教室などの安全・安心な食べものづくりを軸として展開しました。その他にも田んぼの野草探し&摘み草料理教室、田んぼの生き物観察、水辺ウォーキング、竹細工、里山管理教室など合計13のカリキュラムで、都市の市民と丹沢山ろくを結ぶ活動を展開しました。一方で、イノシシなど野生動物による被害にも悩まされた1年でした。自然との付き合い方をどのようにしたらよいのか、地域のみなさんと情報交換し、話し合いを深めた年でもありました。</p> <p>1992年3月に発足した丹沢ドン会は、創立25周年を記念して、保全生態学の泰斗・東京大学名誉教授・中央大学教授の鷲谷いづみさん、名古屋の水生生物の調査を10数年にわたり継続している東海大学自然環境課程教授の北野忠さんを迎えて、生物多様性緑陰フォーラム in 名古屋「さとやまと生物多様性のいま」を2016年10月に名古屋の復元棚田で開催しました。おおぜいの参加者を得て、名古屋の自然の豊かさと丹沢ドン会のメッセージを発信しました。生物の多様性を支えるのは、地域と都市のさまざまな担い手の人間の多様性であることを再確認しました。</p>



生物多様性緑陰フォーラム in 名古屋(2016年10月15日)

連絡先

【担当者】片桐 務

【住 所】秦野市東田原 200-49

【電 話】

【F A X】0463-83-7355

【メール】yumekoubou-t@nifty.com

団体名称	NPO 法人丹沢森の仲間たち
設立目的	森林・林業の持続的利用と森林環境の保全活動に関する事業を行い、地球環境の保全に寄与する。 【設立年月日】平成 18 年 1 月 16 日
団体情報	【代表者】加藤 逸平 【会員数】18 名 【ホームページ】 http://www.erch.or.jp/k-sinrin10/
活動内容	<p>1) 月例研究会の開催 活動拠点を山北町世附に置き、3月～12月の期間で2日/月活動</p> <p>2) 森林整備事業：山北町皆瀬川での地拵えと植樹作業</p>  <p>3) 次を担う世代への普及啓発：森林教室での間伐体験</p>  <p>4) 環境保全団体との共同活動・支援活動</p>
連絡先	<p>【担当者】戸谷和男</p> <p>【住 所】中郡大磯町大磯 64 - 5</p> <p>【電 話】0463-61-6338</p> <p>【F A X】0463-61-6338</p> <p>【メール】totanikf@yahoo.co.jp</p>

団体名称	丹沢けものみちネットワーク
設立目的	ニホンジカを始めとする丹沢の生き物の視点から丹沢の自然環境保全、再生に資するための調査、実践、普及啓発を行う。 【設立年月日】平成8年7月
会員構成等	【代表者】 - 【会員数】 約10名 【ホームページ】 -
活動内容	<p>【ニホンジカの生息密度調査】(継続調査)</p> <p>丹沢山地東部に位置する札掛において、1998年以降、毎年2回札掛地区において区画法によりシカの生息密度調査を継続的に行っており、2016年度は、4月10日、12月3日に調査を実施した。</p> <p>【生息動向調査】</p> <p>1998年以降シカの生息密度調査を継続的に行っているが、2007年度以降、札掛地区においても、県によるシカの管理捕獲が実施されており、部分的に林床植物の成長が見られている。</p> <p>しかしながら、当該地域のシカの生息状況の季節変動についての把握は不十分な状況であることから、自動撮影カメラを設置し、シカの撮影頻度から、生息状況の季節変動に関する情報を把握した。</p> <p>(活動状況写真：自動撮影カメラで撮影した写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
連絡先	<p>【担当者】岩岡 理樹</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】 tad-iwaoka@qq7.so-net.ne.jp</p>

団体名称	NPO 法人 丹沢自然保護協会
設立目的	「空に鳥 森に獣 川には魚」のいる豊かな丹沢の自然環境を子供たちに残すために「今、私たちに出来ること」をテーマに保護、保全活動を行う 【設立年月日】1960年設立、2004年NPO法人に改組
団体情報	【代表者】中村 道也 【会員数】500名 【ホームページ】丹沢自然保護協会で検索してください
活動内容	専門的な調査・研究から街中の自然観察まで幅広く行い、自然保護思想の普及・啓発を行う。 【平成28年度の活動結果】 1、緑の再生活動 荒廃地や人為的影響により生じた裸地に広葉樹等の植栽を行い動物たちの生息地が孤立しないよう、緑地帯で生息域を繋ぐ緑のコリドー作りを行う。 28年度は丹沢・菩提峠、二ノ塔の水源環境整備地に植樹した。 春の植樹：実施日 5月7日（土）参加者：66名 秋の植樹：実施日10月22日（土）参加者：約103名 臨時植樹：実施日 3月28日（火） 2、モニタリング 植栽地の生育過程の調査を行い、植樹の成果・自然回復力の把握を行い、緑の再生事業の成果の向上を目指す。 28年度は三の塔直下ヨモギ尾根の生育状況の調査を行った。 春のモニタリング：実施日 6月4日（土） 秋のモニタリング：実施日 9月10日（土） 3、丹沢フォーラム 丹沢の抱える問題や、行政事業として実施されている丹沢再生事業地を訪ね担当職員あるいは専門講師を招へいする。 実施日5月22日（日）参加者：18名 実施日12月3日（水）参加者：35名 4、森の学校 子供たちに合宿による自然観察や実地体験を通して、楽しみながら自然環境を学んでもらう。 夏の学校：実施日 8月14日～16日参加者：49名 冬の学校：実施日12月27日～29日参加者：45名 春の学校：実施日 3月28日～30日 5、丹沢を歩く 初心者を対象に鳥・植物・動物の痕跡などの観察をしながら、低山を歩き、自然保護の啓発活動を行う。 ブナ林を歩く：実施日 6月10日（金）参加者：13名 丹沢固有種の花を探しに 9月6日（火）参加者：16名 秋のススキ原を歩く 10月24日（月）参加者：7名 丹沢の原生林を歩く 11月14日（月）参加者：18名 シモバシラを探しに 12月20日（火）参加者：17名

渋沢丘陵の雑木林を歩く 1月17日(火)参加者:14名
関東ふれあいの道を歩く 2月26日(日)参加者:19名
春の弘法山を歩く 3月

6、森林整備体験活動

枝打ち、間伐作業補助及び炭焼き等の体験を通して、森林のあり方・手入れの大切さ・環境保全について学ぶ。

実施日:12月26日(月)

7、関係団体との協働

ボラネットの水質調査に参加

クリーンピア21の清掃活動に参加

ワールドフェスタのイベントにて丹沢再生への取り組みの紹介展示を実施。



連絡先	【担当者】酒井明子
	【住所】
	【電話】
	【FAX】
	【メール】the_sakais@ybb.ne.jp

団体名称	丹沢ブナ党
設立目的	<p>ブナを象徴とする丹沢の自然を守るための実践的な活動に取り組むことを目的とする。</p> <p>【設立年月日】1990年11月3日</p>
団体情報	<p>【代表者】梶谷 敏夫</p> <p>【会員数】90名</p> <p>【ホームページ】http://tanzawabunato.web.fc2.com/</p>
活動内容	<p>1．ブナ林方形区調査、ブナハバチ被害状況調査の実施 前年からのひき続きのブナ林方形区調査、ブナハバチ被害状況調査に取り組みました。実生は大量。ハバチの被害は少なかったです。</p> <p>2．秦野市峠地区大規模霊園開設計画問題への積極的な対応 工事が着々と進められる中、ノスリの営巣は確認されず、飛翔も前年に比較し激減しました。オオムラサキの越冬幼虫の数も激減しました。</p> <p>3．里山歩きのほか、自然観察会を開催 里山を歩き、かつての薪炭林を形成していた雑木林が育ち過ぎている状況や、手入れがなされず荒れている里山林を目の当たりにして、ツキノワグマを初めとした野生動物との共生を図る上で、しっかり考えて対策を取る必要を痛感しました。 誰でも参加できる自然観察会を開催し、多くの方の参加を得て、珍しい景観や貴重な自然遺産を目にすることができました。</p> <p>4．ツキノワグマの痕跡調査、餌植物調査の実施 昨年は、ブナやクヌギ、コナラ類の結実は良くありませんでしたが、大山北尾根ネクタイ尾根等では、ミズナラに熊棚等の痕跡が無数に確認することができました。</p> <p>5．他団体との交流 富士ゼロックス端数倶楽部、小田原山盛りの会、塚原の雑木林を守る会との交流を行いました。</p>
連絡先	<p>【担当者】梶谷 敏夫</p> <p>【住 所】横浜市港北区箕輪町3 - 3 - 8</p> <p>【電 話】045-563-3953</p> <p>【F A X】045-563-3953</p> <p>【メール】bunato-kazitani@mub.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	西丹沢の自然にふれあう会
設立目的	西丹沢・北丹沢計6箇所の避難小屋およびその往復登山道の清掃活動をするため 【設立年月日】2000年6月25日
団体情報	【代表者】多田慎一 【会員数】33名 【ホームページ】-
活動内容	<p>平成28年の活動概略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月一回の例会を計9回実施。内容は2箇所の避難小屋や西丹沢を主とした登山道の清掃活動など(写真は2月例会、シダンゴ山で) 参加者延べ126人、回収ゴミ19kg。 ・他にも会員有志による清掃登山が数回 ・西丹沢山開きに登山者代表として参加 ・ボラネット関連では水質検査採水の分担実施など 
連絡先	<p>【担当者】沼野正睦</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】mnumano@jcom.home.ne.jp</p>

団体名称	蛭ヶ岳山荘委員会
設立目的	<p>神奈川県より譲渡された、民間経営の山小屋としてお客様が快適に過ごせる山小屋を目指して営業努力している。山岳愛好者を中心とする一般登山者に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 1998年 4月 1日</p>
団体情報	<p>【代表者】杉本 憲昭</p> <p>【会員数】蛭ヶ岳山荘友の会100名</p> <p>【ホームページ】http://kitatan.com/hirutop</p>
活動内容	<p>4月17日 春・夏用の物資荷上げ 北丹沢山開きに合わせ山頂での清掃活動（登山者への呼びかけ）</p> <p>5月 登山道利用実態調査協力、丹沢大山流域の水質調査に協力</p> <p>9月 蛭ヶ岳山頂の土砂流失による埋立ゴミ（缶・ビン等）清掃</p> <p>10月3日 秋・冬用の物資荷上げ</p> <p>11月23日 登山道整備・シカ柵設置工事の為、地元業者の宿泊地及び連絡事務所として協力</p> <p>活動場所 北丹沢山域（特に蛭ヶ岳、神の川乗越、姫次を中心とした地域）</p> <p>蛭ヶ岳山荘友の会会長 太田 顕成</p>
連絡先	<p>【担当者】杉本 憲昭</p> <p>【住所】相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】042-687-4011</p> <p>【FAX】042-687-3980</p> <p>【メール】kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	NPO 法人 みろく山の会
設立目的	健全かつ安全な登山、ハイキングに対する事業を行いスポーツの振興に寄与する目的で設立されました。 【設立年月日】1983年4月設立。2000年3月山岳会として全国で初めてNPO法人として認証を受けました。
団体情報	【代表者】十倉 昭雄 【会員数】775名（平成28年12月末） 【ホームページ】 http://www.mirokuyamanokai.org/
活動内容	<p>会山行は月50回以上で年間700回以上を、160名のリーダーで初心者から経験者までが参加できる山行を計画しています。近郊の公園歩きからアルプスなどの山行から沢登りやクライミング、スキー及び海外登山まで多様な山行を実施しています。</p> <p>会の三大大行事として年一回の総会・みろく祭り・清掃登山活動があり、そのなかで清掃登山は創立以来継続しており第34回として平成28年3月4日に大倉周辺の10コースに会員219名が参加し、ゴミ183kgを収集しました。</p> <p>丹沢大山再生計画の第一期から行っている大倉尾根の県民協働型登山道補修は毎月一回10名程度が参加し、登山者調査と登山道の老朽化した階段や水切りの補修を行っています。</p> <p>平成28年1月24日（日）に県下の高校生50名が参加して『高校生が取り組む「丹沢やまみち再生体験」』を大倉尾根一本松付近でヌカルミ対策を実施しました。</p> <p>大倉尾根の裸地対策としてNEXCO 中日本との協働により大倉尾根で採取した種から苗を育成し、登山道脇に植栽する作業も行っています。</p> <p>森づくりはヤドリキ水源林で年に数回の草刈りと毎年100本以上の広葉樹5種類程度を植樹してきました。4月にはヤマザクラの開花を確認しました。</p>
連絡先	<p>【担当者】鈴木 茂</p> <p>【住所】横浜市西区平沼1-1-11-202</p> <p>【電話】045-317-2369（平日12：00-17：00）</p> <p>【FAX】045-317-2365</p> <p>【メール】sizenhogo-bu@mirokuyamanokai.org</p>



水無川でのゴミ拾い



高校生の補修体験



NEXCO と植生回復作業



ヤドリギ 苗木を背負って

団体名称	NPO 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部 (WRV 神奈川支部)
設立目的	野生動物の救護活動を通じ、神奈川県における自然環境保全に寄与することを目的とする 【設立年月日】平成 15 年 7 月 5 日
団体情報	【代表者】皆川康雄 【会員数】約 30 名 神奈川県野生動物リハビリテーター認定者：約 100 名 【ホームページ】 http://www.wrv-kanagawa.net/
活動内容	丹沢大山の自然環境保全に直接かかわる活動は特にはないが、川崎市にある野生動物ボランティアセンターを中心に県内全域で以下の活動をしました。 傷病野生動物の救護と野生復帰 傷病野生動物の救護に従事できる専門的なボランティア『神奈川県野生動物リハビリテーター』を県の協力を得て養成及び資格認定 なお、認定された野生動物リハビリテーターは、上記の野生動物ボランティアセンターの他に県自然環境保全センター、横浜市立動物園(野毛山・金沢・よこはま動物園ズーラシア)及び川崎市立夢見ヶ崎動物公園にて活動 大学や専門学校を対象に野生動物リハビリテーター人材の育成のための専門家教育 次代を担う子どもたちに生命や自然の大切さ、人と野生動物との共生のための環境教育 県民に野生動物救護に対する理解を深めてもらうための普及啓発 救護原因の究明や予防対策のための調査研究
連絡先	【担当者】皆川康雄 【住所】 【電話】 【FAX】 【メール】kanagawa@wrvj.org

団体名称	かながわ野生動物サポートネットワーク
設立目的	<p>人間側の都合だけでなく野生動物の側の視点にも立ち、彼らをサポートしたいと設立しました。傷病野生動物、他、さまざまな理由で人間の手の中に入ってくる野生動物を通じ保全医学の観点に立ち、生物多様性の保全に資する保全活動を行なっています。多くの団体、個人とのネットワークを活かし、解決に向けた取り組みと啓発普及活動をしています。神奈川野生動物救護連絡会(救護連)に参加、WRV 神奈川支部、神奈川県野生動物リハビリテーター、その他有志の方々とも連携し活動を広げています。</p> <p>【設立年月日】平成 10 年 4 月 1 日</p>
団体情報	<p>【代表者】葉山 久世</p> <p>【会員数】現在会員募集なし。プロジェクトごとに有志で運営するスタイル</p> <p>【ホームページ】http://umigome.ezpress.jp/ (救護連の活動を掲載、サポートの HP は持っていません)</p>
活動内容	<p>かながわ野生動物サポートネットワークとして</p> <p>野生動物の調査や救護に関する相談、アドバイス、対策提案など。</p> <p>野生動物対策の委員会委員(カワウ、外来生物)</p> <p>サギの糞・鳴き声被害対応(南足柄市)</p> <p>日本獣医師会 野生動物救護対策の在り方検討小委員会 専任委員 委員会の報告書「保全医学の観点を踏まえた野生動物対策の在り方」編集</p> <p>カナダガン調査グループのメンバーとして</p> <p>富士山周辺の野生化カナダガン(モニタリング調査・普及啓発)</p> <p>展示:さがみ自然フォーラム 野毛山動物園にて動物たちの SOS 展、 日本自然保護協会 平成 28 年度日本自然保護大賞 保護実践部門受賞</p> <p>神奈川野生動物救護連絡会のメンバーとして</p> <p>野鳥への釣り針・釣り糸被害の防止のための活動(調査:横浜市金沢区福浦岸壁の釣り針・釣り糸調査、普及啓発:ジャパンフィッシングショー、展示:さがみ自然フォーラム) 海ゴミによる野生動物への被害(展示・ワークショップ:ズーラシアにて海の動物 SOS!展) トビ被害の防止(予防のための普及啓発:金沢いきいきまつり、藤沢市環境フェア、さがみ自然フォーラム)</p>
連絡先	<p>【担当者】葉山久世</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】pcv@nifty.com</p>

団体名称	町田グラウス山の会 (日本勤労者山岳連盟所属)
設立目的	ハイキング、山岳スキー、自然保護活動などを行う地域山岳会。 【設立年月日】1984年1月
団体情報	【代表者】千葉 静子 【会員数】174名 【ホームページ】 http://machida-grouse.com/
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・丹沢だけではなく、国内外の山岳での登山活動。 ・4月17日(日) 丹沢山開き式への参加と、三ノ塔尾根での植物観察会を実施。例年より花の開花は早く、ナガバノスミレサイシンの花は殆ど散っていた。イノシシによると思われる掘り起こしが目立つ。 ・5月22日(日)に障害者との交流ハイキングを弘法山で実施した。会員82名、19名の障害者うち7名は車椅子利用、介助者と一般参加者20名の121名が参加。権現山展望台付近でスイカ割り、合唱、フォークダンスで交流を深めた。 ・10月30日(土)に丹沢でのクリーンハイク(清掃登山)を実施。2016年はクリーンピア21に協力。4コース55名が参加。可燃ごみ72.0Kg、不燃ごみ477.5Kgを回収。特にヤビツ峠から富士見橋間の林道下への投棄が多い。 ・11月28日(日) 早戸川上流の魚止めの森の植樹地の手入れ作業を実施。数日前の降雪のためマス釣り場上流のゲートが閉ざされていたため、そこから1時間ほどは徒歩で移動した。
連絡先	【担当者】安田 優 【住所】 【電話】 【FAX】 【メール】m_and_e_yasuda@yahoo.co.jp

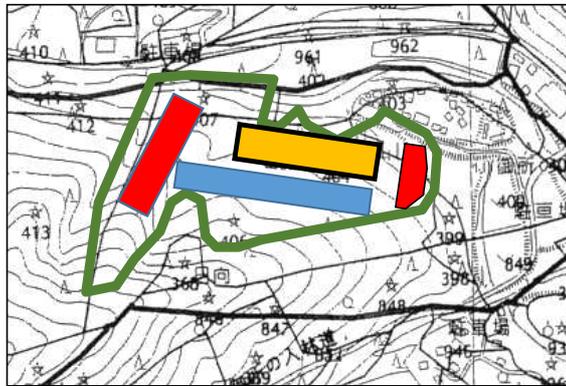
団体名称	N P O 法人伊勢原森林里山研究会
設立目的	伊勢原市内の森林及び里地の自然環境保全と農林産物の有効活用促進に関する事業を行い、環境の保全を図る 【設立年月日】 平成 17 年 4 月 6 日（登録年月日）
団体情報	【代表者】山口 寿則 【会員数】20 人 【ホームページ】 http://www.iif-isehara.com
活動内容	<p>森林保全再生事業 石雲寺の森混交林化に向けたパッチ状皆伐・植樹 稚樹保護・軽量堅牢獣害柵敷設による林床植生保護 3 年後の柵開閉によるニホンジカ生息環境づくりを整備し野生動物との共生を探る。</p> <p>里地の遊休水田・畑地の保全再生 竹堆肥による稲作、雑穀、野菜の固有種育成による地域農業の再生</p> <p>調査研究事業 植生保護柵開閉によるニホンジカ進入行動調査 下層植生の牧養力調査</p> <p>農林産物の有効活用と地域再生 広葉樹伐採と有効活用による原木キノコ栽培の試作と普及 獣害柵設置による協働の意識を醸成し地域農産品の共同開発</p> <p>政策提案 東京農大、薬草研究財団、N P O、行政による日向地区における薬草栽培と地域再生の協議会設立準備中 先行して一部試験栽培</p> <p>その他の事業 都市と中山間地の交流事業(子育て支援の後方支援 植樹祭 彼岸花まつりへの参加 民俗行事「虫おくり」の復活)</p>
連絡先	<p>【担当者】山口 寿則</p> <p>【住 所】伊勢原市伊勢原 1-16-4</p> <p>【電 話】</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】info@iif-isehara.com</p>

森林の保全・再生

石雲寺の森混交林化に向けたパッチ状皆伐・植樹 稚樹保護・獣害柵敷設 下層植生保護
二ホンジカ生息環境保護 獣外柵の定期的開閉による野生動物との共生の森をめざします



入会2年半の広報担当Yです。28年度の活動を報告します



石雲寺の森2.31ha 活動対象地
■ 26年度 ■ 27年度 ■ 28年度



28年3月 植樹風景



ツリーシェルターで稚樹保護 獣害ネット張



プロに学ぶ架線敷設計画

400mワイヤー・滑車を使ったジグザグ架線集材



返し付滑車



滑車取り付け位置の保



林内の土場まで単線集材



いざ本番!



集積場に集材



ワイヤーグリップ



返しなし滑車

里地の農地の保全再生

荒廃竹林の伐採・チップ化・竹堆肥



シロカキを「泥リンピック」で乗り切る



絶えていた虫送りを復活、田の神に祈る



竹灯籠づくり



M家の竹移送



踏込が決め手



鶏糞を頂く

馬力と切れ味の竹粉碎機 発酵1年で完熟堆肥

木材の搬出と有効活用で二酸化炭素の固定



搬出木材の移送



ログソールの製材技術を学



テーブルベンチに技術を生か



日向マルシェの販売台

獣害に営農意欲低下が輪をかけた耕作放棄地の拡大に地域特産品の光を・・・



獣被害地域の必需機具



獣外柵の内側で地域特産品開発の実験農場



固定種のタネ取りを目指した農業1年目



彼岸花まつりに出品 地域の方も協力

団体名称	NPO 法人神奈川ウォーター・ネットワーク (KWN)
設立目的	<p>神奈川県が実施した丹沢大山総合調査に参加した魚類・底生生物ボランティアが中心となって設立した。</p> <p>神奈川県内の生物、とりわけ淡水魚や水生生物とそれを取り巻く環境の保護・保全・調査・研究・啓蒙活動を行うことを目的としている。</p> <p>【設立年月日】平成 18 年 10 月 18 日</p>
団体情報	<p>【代表者】山崎 泰</p> <p>【会員数】14 名</p> <p>【ホームページ】-</p>
活動内容	<p>5 月</p> <p>総会を開催し昨年度および今年度の活動と予算を承認した。</p> <p>11 月</p> <p>2015 年 1 月 13 日に行った第 1 回市民フォーラム「河川水温についての市民フォーラム講演要旨」(神奈川工科大学 環境科学技術研究所 研究成果報告書 第 4 号 平成 25 年度)を別冊「河川水温についての市民フォーラム報告書」(NPO 法人 神奈川ウォーター・ネットワーク)として出版した。</p> <p>12 月</p> <p>関東淡水魚研究会で「ヤマメとシロタニガワカゲロウの分布と遺伝的構造」を口答発表した。</p> <p>3 月</p> <p>2016 年 2 月 28 日に行った第 2 回市民フォーラム「分布境界のヤマメとアマゴ報告書」(神奈川工科大学 環境化学技術研究所 研究成果報告書 第 6 号 別冊 平成 27 年度)として出版した。</p> <p>このほか、個人的活動として淡水魚および水生昆虫の調査・研究・協力等を随時行った。</p>
連絡先	<p>【担当者】金子裕明</p> <p>【住 所】厚木市旭町 2 -12-3</p> <p>【電 話】</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】ephemeraformosana1017@gmail.com</p>

団体名称	NPO法人丹沢自然学校
設立目的	<p>丹沢地域に暮らす人々及び丹沢地域を訪問する人々に対して、相互の交流を促進すると共に、丹沢地域の自然、文化の普及、啓発に関する事業を行い、丹沢地域の自然環境及び地域文化の保護、保全に寄与することを目的とする。</p> <p>2009年4月23日NPO法人として設立(2007年3月3日任意団体として発足)</p>
団体情報	<p>【代表者】 理事長 五十嵐聡</p> <p>【会員数】 21名</p> <p>【ホームページ】 http://www.tes21.org</p>
活動内容	<p>私たちは西丹沢を中心に、丹沢の自然や文化を体験するエコツアー・プログラムを企画・実施しています。</p> <p>28年度は、11回のエコツアーを実施（今後に予定しているものを含みます）。例えば、こんなツアーをやっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身に水を浴びて西丹沢の源流の沢をさかのぼる「シャワークライミング」。滝を登って淵にドボン！ 夏休みの土日限定で実施している、丹沢自然学校で最も人気のあるプログラムです。 ・「丹沢の自然再生調査」 丹沢自然学校が7年間継続している檜洞丸の定点撮影と畦ヶ丸の実生調査を、参加者と一緒に実施しました。定点撮影では7年間の林床植生や立ち枯れの変化を実感し、実生調査ではブナ林の今後を一緒に考えました。いずれも丹沢の緑を育むつどい・ボラネット助成金をいただいて実施しています。 ・「ヒミツの丹沢探検隊」 丹沢自然学校スタッフのとおきのおすすめコースを歩くイベント。「参加者全員がガイド」を合言葉に、誰かが引率するガイドツアーではなく交流登山として実施しています。28年度は菩提峠と林道歩き、雨山峠から登る鍋割山、南高尾ブチ縦走、檜岳山稜など、いずれも、マイナーで歩く機会の少ないコースをあえて選んでいます。 ・「丹沢山麓で砂金探し」 ヒミツの河原で砂金探し。丁寧に泥を流していくと、そこにきらりと光る一粒を発見！ 一攫千金・・・とまではいきませんが、なぜここに金が出るのか、丹沢の成り立ちからさぐる学びも交えたエコツアーです。 ・都市部のレストランカフェで、お茶を飲みながらゲストのお話を聞く「丹沢よろずカフェ」も実施。体を動かすのはちょっと苦手だけど丹沢のことは知りたい、という方に向けた、インドアプログラムです。 <p>ボランティア活動としては、西丹沢の登山道の植生の状況を追跡調査する定点撮影、ブナの実生の消長の継続調査を行っています（28年度は上記のように一般参加者も募って実施）。特に定点撮影では、丹沢の林床植生の衰退や立ち枯れをビジュアルに示すことができ、スタッフも参加者もあらためて丹沢の自然再生を考える機会になっています。今後も継続して実施したいと考えています。</p> <p>地域への貢献としては、秦野丹沢まつりの山開きイベントにガイドとして協力しました。また事務所近くの小学校で、野生動物調査の出張授業（総合学習の事業）を2回実施しました。</p>

これらの活動を通じ、多くの方に丹沢の自然や文化を知っていただき、丹沢の自然のために行動する輪が広がっていくことを願っています。



夏のシャワークライミング（西沢）



砂金探し（ヒミツの河原）



林床植生の定点撮影（檜洞丸） 左：2010年10月、右：2016年10月



子どもたちと野生動物調査、自動撮影カメラに写ったのは・・・!?（上秦野）

連絡先

【担当者】小林 昭五

【住所】

【電話】

【FAX】

【メール】kobayashi42477@nifty.com

団体名称	特定非営利活動法人 野生動物救護の会
設立目的	野生動物の保護及び救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。 モットーは「一頭一羽でも多くの野生復帰を目指して！」 【設立年月日】平成 18 年 10 月 2 日
団体情報	【代表者】渡辺 優子 【会員数】約 130 名 小学生から年配者まで幅広い会員 【ホームページ】 http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp
活動内容	基本は神奈川県自然環境保全センターにおける野生動物救護ボランティアとしての活動。 <ul style="list-style-type: none"> ・4月9日 ハイキング石砂山 ・6月4・5日 平成 28 年度野生動物救護ボランティア講習会開催 ・7月30日 第6回夏休み子供体験教室「野生動物を学ぶ」開催 ・9月25日 平成 28 年度ボランティア講習会修了式及び講演会 赤木智香子氏 「日本における野生動物救護の現状とボランティア活動について」 ・10月8・9日 ワールドフェスタヨコハマ 2016「猛禽の住める森」展示参加 ・10月23日 動物フェスティバル神奈川 2016 in あやせ展示参加 「猛禽類の住める森を & 傷つく野生動物」 ・11月3日 第37回はだの市民祭り「猛禽類の住める森を & 傷つく野生動物」 展示参加 ・12月3日 傷病舎大掃除&豚汁とモツ煮大会 ・12月19日 厚木市立相川小学校四年生環境教育 「野生動物を守る(いきものとなかよし)」 <p>通年調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「足環プロジェクト」 ・「秦野市立図書館衝突調査」 ・フクロウなどの巣箱調査 <p>そのほか羽根標本作成や探鳥会などを行っている また、会報誌 RUNNER 発行やブログ更新(随時)も行っている</p>
連絡先	【担当者】渡辺 優子 【住所】神奈川県秦野市戸川 1086-4 【電話】0463-75-1830 【FAX】 【メール】wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp



夏休み子供体験教室



ワールドフェスタヨコハマ



動物フェスティバル 2016



はだの市民祭り



エディケーションバードの
コミミズク



相川小学校での環境教育

団体名称	特定非営利活動法人 足柄丹沢の郷ネットワーク
設立目的	この法人は、広く一般の市民に対して、神奈川県足柄上地域・西丹沢の地域間連携による共生型の市民ネットワーク社会の構築と地域にある豊富な資源を活用した都市と農山村間の交流や学び、体験などの多様なカリキュラムやプログラムを通じて、人と地域が共に学び、共に生き、共に発展（繁栄）していくための持続可能な仕組みづくりを目指し、地域や山里の歴史や自然、暮らしや文化などの叡智に対する認識と継承を行い、環境、教育、社会福祉、青少年の健全育成などの分野の向上に寄与することを目的とする。 【設立年月日】平成 23 年 6 月 7 日
団体情報	【代表者】福島 実 【会員数】12 名 【ホームページ】 http://ashitan.jimdo.com
活動内容	(1) 足柄キンタロウ学校事業活動 ・グリーンウッドワークのものづくり体験（木工・木育）活動 （平成 25 年度、26 年度、27 年度、28 年度子どもゆめ基金採択事業） ・自然体験・野外体験活動 （平成 28 年度子どもゆめ基金採択事業） (2) 森林ボランティア活動 活動地：山北町玄倉、篝沢地区の民有林の森 (3) その他
連絡先	【担当者】福島 実 【住 所】 【電 話】080-6106-0974 【F A X】 【メール】 m.fukushima@sea.plala.or.jp

団体名称	湘南自然観察クラブ		
設立目的	自然観察を通して環境保全をめざしたい [設立年月日]平成22年12月		
団体情報	[代表者]田中 幸雄 [会員数] 8名 [ホームページ] -		
活動内容	<p>月1回 県央・湘南・西湘・横浜地区をベースにいろいろな方との交流を兼ねて動植物の観察会を行っています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>自然保全センターにおいてミニ観察会の実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		
連絡先	【担当者】石山 浩恵		
	【住 所】		
	【電 話】045-301-9617		
	【F A X】同 上		
	【メール】stone-mountain@jcom.home.ne.jp		

団体名称	伊勢原の自然と環境を守る会
設立目的	伊勢原の自然と環境を破壊から守り、自然と共生する生活を模索することで、大量生産・大量消費社会を超えた、新たな持続可能な循環型社会を実現する。 【設立年月日】1993年7月1日
団体情報	【代表者】北山 宏之 【会員数】70名 【ホームページ】 http://www.geocities.jp/iseharakankyou/
活動内容	<p>活動の柱（地域の環境保全活動全般）</p> <p>1）オオタカの調査、保護 2）大気汚染調査 3）環境保全型農法の研究 4）第2東名、246バイパスへの対応、5）農作物などに含まれる放射線量の測定</p> <p>活動詳細</p> <p>1 日向の畑関連 田植え 5/21（土）8：00～ 田の草取り 7/2（土）8：00～ そばの種まき 8/16（火）8：00～ 稲刈り 9/22（木）8：00～ そば刈り 10/8（土）8：00～ 脱穀糶摺り 10/16（日）8：00～ 鴨そばP 11/13（日）10：00～</p> <p>2 先進事例等の視察研修会の企画（エコネットに協力） テーマ「高速道路建設に伴う環境に関する影響（騒音、照明、景観、大気、水質、構造物の蓄熱等、渋滞の発生回数、交通量の予測）」 日 程 平成29年3月18日（土）9：00～12：00 9：00伊勢原市役所駐車場に集合 3～4台の車に分乗して移動 （2か所程度の工事現場を見学し説明を受ける 懇談（文化会館練習室1を予約）</p>
連絡先	<p>【担当者】北山 宏之</p> <p>【住 所】伊勢原市三ノ宮1777-7</p> <p>【電 話】0463-91-2334</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】kitayama-hiro@kfx.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	丹沢山小屋組合
設立目的	行政やその他の関係機関と協力連携し、安心安全な登山に寄与するための事業を行う。 【設立年月日】昭和 37 年 11 月 1 日
団体情報	【代表者】山口恵子 【会員数】18 名 【ホームページ】
活動内容	4 月 11 日 秦野保健所常任委員会 4 月 17 日 丹沢まつり式典 5 月 25 日 丹沢山小屋組合定期総会 秦野保健所食品衛生講習会 5 月 30 日 秦野伊勢原食品衛生協会定期総会 6 月 5 日 丹沢ボッカ駅伝競走大会 6 月 10 日 秦野市観光協会理事会 6 月 13 日 春季ヤマビル対策作業 6 月 21 日 秦野戸川公園運営委員会 6 月 28 日 丹沢まつり実行委員会 6 月 29 日 秦野市観光協会総会 7 月 25 日 丹沢まつり実行委員会 9 月 15 日 丹沢野外音楽イベント実行委員会 9 月 26 日 ヤマビル対策及び登山道補修作業 9 月 28 日 秦野保健所視察研修会 11 月 3 日 秦野市功労者等表彰式 11 月 9 日 秦野市観光協会理事会 11 月 14 日 丹沢まつり運営委員会 12 月 6 日 丹沢まつり実行委員会 1 月 23 日 丹沢まつり実行委員会 1 月 31 日 秦野戸川公園利用運営会議 丹沢野外音楽イベント実行委員会
連絡先	【担当者】山口恵子
	【住 所】
	【電 話】
	【F A X】
	【メール】

世話人会の活動報告

平成 28 年度世話人会の活動報告

1 世話人会の開催

(1) 第 1 回

実施日 平成 28 年 6 月 1 日 (水)
場 所 あつぎ市民交流プラザ
出席者 4 名
内 容 講演会 夏休み親子自然探検隊 瓦版の発行

(2) 第 2 回

実施日 平成 28 年 9 月 7 日 (水)
場 所 あつぎ市民交流プラザ
出席者 4 名
内 容 外来種駆除活動 丹沢大山自然再生シンポジウム

(3) 第 3 回

実施日 平成 28 年 12 月 7 日 (水)
場 所 あつぎ市民交流プラザ
出席者 3 名
内 容 世話人の改選 平成 28 年度事業計画

(4) 第 4 回

実施日 平成 29 年 3 月 1 日 (水)
場 所 あつぎ市民交流プラザ
出席者 3 名
内 容 世話人の改選 平成 28 年度総会の役割分担と事業計画

2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから、世話人代表が各委員会へ出席

(1) 緑を育む集い実行委員会

日時 平成 28 年 4 月 27 日 (水)
会場 自然環境保全センター
内容 平成 27 年度事業報告・決算報告について
平成 28 年度事業計画・予算 (案) について

(2) 丹沢大山自然再生委員会

・ 第 24 回普及啓発検討部会

日時 平成 28 年 4 月 26 日 (火)
会場 万国橋会議センター
内容 平成 28 年度県民事業専門部会事業計画案・予算案について
平成 28 年度県民事業専門部会の進め方について
地球環境イベント・かながわエコ 10 フェスタ 2016 について
その他

・ 第 16 回丹沢大山自然再生委員会 (平成 28 年度総会)

日時 平成 28 年 6 月 24 日 (金)
会場 横浜市開港記念会館
内容 平成 27 年度事業実績・決算について
平成 28 年度事業計画・予算 (案) について
専門部会の報告・提案について
次期丹沢大山自然再生計画について
丹沢大山自然再生活動報告会について

・ 第 24 回幹事会 (平成 28 年度第 1 回丹沢大山自然再生活動報告会実行委員会)

日時 平成 28 年 7 月 22 日 (金)
会場 万国橋会議センター
内容 平成 28 年度丹沢大山自然再生活動報告会について
次期丹沢大山自然再生計画に係る事業評価部会意見について
その他

・ 第 25 回普及啓発検討部会

日時 平成 28 年 9 月 2 日 (金)
会場 かながわ県民活動サポートセンター
内容 地球環境イベント・かながわエコ 10 フェスタ 2016 作業部会からの報告
ワールドフェスタ・ヨコハマ 2016 について
平成 28 年度丹沢大山自然再生活動報告会について
その他

・ 第 17 回丹沢大山自然再生委員会

日時 平成 28 年 10 月 29 日 (土)
場所 厚木商工会議所
内容 今後の丹沢大山自然再生の取組について
その他

・ 第 16 回県民事業専門部会

日時 平成 29 年 3 月 22 日 (水)

会場 万国橋会議センター

内容 普及啓発検討部会からの報告
平成 28 年度事業実績見込・決算見込について
平成 29 年度事業計画・収支予算案について
その他

丹沢大山ボランティアネットワーク会則

(名 称)

第1条 本組織は、丹沢大山ボランティアネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

(目 的)

第2条 ネットワークは、丹沢大山で自然環境に関する活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り、行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に関する活動の推進を図ることを目的とする。

(会 員)

第3条 会員は目的に賛同するボランティア団体により構成する。

2 入会及び退会は、所定の書面による届け出とする。

(活動内容)

第4条 ネットワークは、次の活動を行う。

- (1) ネットワークづくりの推進に必要な活動の実施
- (2) 会員への情報提供および会員相互の情報交換の推進
- (3) その他、ネットワークの目的に合致する活動

(世話人会)

第5条 ネットワークの運営のため、世話人会を設ける。

2 世話人は総会によって選出し、5名程度とする。

3 世話人会に代表1名と、副代表1名を置き、選出された構成員の中から互選により定める。

4 世話人会は代表が招集し、議長となる。

5 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は、その職務を代行する。

6 世話人の任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。

7 世話人会は、必要に応じ開催する。

(世話人会の職務)

第6条 世話人会は次の事項を行う。

- (1) 会員間の連携の推進に必要な連絡、調整
- (2) 各種情報の収集、分析
- (3) 行政とのパートナーシップの推進のため必要な神奈川県自然環境保全センターとの協議
- (4) 総会に付議する議案に関すること。
- (5) その他、ネットワークの運営のため必要な事項

(総会)

第7条 総会は、世話人会代表が召集する。

2 総会は、年1回以上開催する。

- 3 議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 4 議決権は1団体で1票とする。

(事業年度)

第8条 事業年度は、4月1日から翌年3月31日迄とする。

(会費)

第9条 会費は毎年4月1日から翌年3月31日迄の1年間とし、年間2,000円とする。

(庶務)

第10条 丹沢大山ボランティアネットワークの必要とする費用は、会費および助成金、その他の収入をもってこれに充当する。

- 2 会計担当者を2名以内置く。
- 3 監事を2名置き、会務および会計を監査する。
- 4 ネットワークの庶務は、当分の間、神奈川県自然環境保全センターが協力して行う。

(その他)

第11条 この会則に定めるものの他、ネットワークの運営に必要な事項は、世話人会で協議して定める。

- 附 則
- 1 この会則は、平成14年8月4日から施行する。
 - 2 この会則は、平成15年4月5日から施行する。
 - 3 この会則は、平成19年4月8日から施行する。
 - 4 この会則は、平成20年4月6日から施行する。

丹沢大山ボランティアネットワーク入会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークに入会しますので、入会届を提出します。

団 体 名
住 所 〒
代表者 氏名
" 住所 〒
担当者 氏名
(連絡先) 住所 〒
" 電話
" ファックス
" E-mail

団体の概要記入欄

設立時期	
会員数	
会報	あり(名称:) なし
ホームページ	あり(アドレス:) なし
保全活動に関するキーワード	美化活動 植樹、森林の育成 調査(内容:) 普及啓発(内容:) その他(内容:)
活動の概要	主な活動地域()
自由記載欄	
連絡方法	郵送 電話 ファックス E-mail

- 注 1 該当する にチェックをしてください。
2 内容については、丹沢大山保全活動ホームページに掲載します。

丹沢大山ボランティアネットワーク退会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークを退会しますので、退会届を提出します。

団 体 名
住 所
代表者 氏名
” 住所

退会理由：

編集・発行

神奈川県自然環境保全センター

厚木市七沢 6 5 7

電話 046-248-0323